

ピコレーザー 同意書

◆治療が受けられない方

- ☐光過敏症の方 ☐ケロイド体質の方 ☐てんかん発作のある方 ☐傷の治りが悪い方
☐治療部位に癌がある方 ☐治療部位 ☐全身状態不良の方
☐治療部位に金属糸、金属プレートをいれている方 ☐ヘルペスのある方
☐リウマチの治療歴の方(金属内服歴のある方)
☐妊娠（有・無）☐授乳中の方
☐アートメイク（有・無）→ （ アイライン ・ 眉毛 ・ その他： ）

治療經過

- ・治療中はパチツとする痛みがあります。
- ・症例により治療回数が異なります。
- ・次回の治療は 1 ヶ月以上間隔をあけてからになります。2 回目以降は医師の診察により治療間隔を 2 ヶ月以上あけていただく場合があります。

◆ピコスポット

- ・照射後赤みが出ますが、数時間～数日で徐々に引いていきます。
(約 3 日程度続く場合があります。)
- ・照射部にカサブタができることがありますが無理に剥がさず、自然に剥がれ落ちるのをお待ちください。カサブタは 1～数日で取れます。
- ・大きめのシミに照射した場合、摩擦予防のために茶色いテープを貼ることがあります。テープの上から軟膏を 1 週間塗布し、テープは 10 日間貼った状態でお過ごしいたください。

◆ピコトーニング

- ・低出力のレーザー治療でダウンタイムがほとんどありません。
- ・照射後、赤みや腫れが出ることがありますが数時間～数日で徐々に引いていきます。
(約3日程度続く場合があります)
- ・シミ、そばかすは反応が強く出た場合カサブタができることがあります。
カサブタは無理に剥がさないでください。カサブタは1～数日で取れます。
- ・小さい点状出血斑が出た場合は数日で褐色になり1週間程度で消失します。

◆ピコフラクショナル

- ・照射後、赤みや腫れが出ますが数時間～数日で徐々に引いていきます。
(約3日程度続く場合があります)

- ・シミ、そばかすは反応が強く出た場合カサブタができる事があります。
カサブタは無理に剥がさないでください。カサブタは1～数日で取れます。
- ・小さい点状出血斑が出た場合は数日で褐色になり1週間程度で消失します。

レーザー治療前・治療中の注意事項

- ・日焼けをされていると安全にレーザー治療を行えないため、医師の判断で治療をお断りする場合があります。少なくとも治療1ヶ月前から日焼けはお控えください。
- ・レーザー治療当日にメイク、化粧品(クリーム、化粧水、日焼け止めを含む)が残っていると効果に影響しますので治療開始前に完全に落とすようにしてください。
- ・治療中はレーザーから眼を保護するためゴーグルを着用していただきます。
レーザー照射中はゴーグルを絶対に外さないでください。
また、ゴーグル着用中も眼は閉じるようお願いいたします。

レーザー治療後の注意事項

- ・治療後は紫外線の影響を受けやすくなっています。
日焼けはレーザー照射部の色素沈着の原因となるため、SPF30～50程度の日焼け止めを使用するなど、十分な紫外線対策を行ってください。
- ・治療後は乾燥しやすくなっているため、いつも以上に保湿を行うようにしてください。
- ・メイクは治療直後から可能ですが、赤みが強い場合、その部位はお控えください。
また強くこする行為はお控えください。
- ・治療当日は洗顔、シャワー浴は可能ですが、レーザー治療後は感染、炎症の増悪を防ぐため、過度の運動や飲酒、サウナは2～3日の間お控えください。
- ・施術部位の剃毛(シェービング)やピーリングは、施術後2週間はお控えください。
- ・レーザー照射後の炎症反応や色素沈着は従来のレーザーに比べ軽度には抑えられると考えられていますが、2.3割の確率で起こることがあります。日焼けにより皮膚が黒くなりやすい方、肝斑がある方は特に起こりやすいと言われてしています。
炎症後色素沈着が起こった場合、基本的には半年程度かけて自然に良くなっていきますが、ピコトーニング・内服薬(トラネキサム酸・ユベラ・ビタミンc)・外用薬により症状の軽減が期待できます。
- ・肝斑が疑われる場合、トラネキサム酸、ビタミンCの服用をお勧めします。

起こりうる合併症

- ☐色素沈着 ☐色素脱失 ☐紅斑 ☐水疱 ☐点状出血
☐肝斑の悪化 ☐瘡蓋(カサブタ)

→数時間～数日でほぼ消失しますが、ごくまれに色素沈着や色素脱失で通院治療が必要になる場合があります。

上記ピコレーザーの治療内容について理解し、治療を受けることに同意いたします。

令和 年 月 日

氏名: _____

※施術を受けられる方が未成年の場合は親権者の直筆にて下記をご記入ください。

親権者氏名: _____ (本人との続柄:)